



2025 年 10 月 6 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 i s p a c e

代 表 者 名 代 表 取 締 役 C E O 袴 田 武 史

(コード番号：9348 東証グロース市場)

問 合 せ 先 取 締 役 C F O 野 崎 順 平

(TEL.03-6277-6451)

**(開示事項の経過)「宇宙戦略基金」に関する衛星開発および
その打上輸送と運用業務受託のお知らせ**

2025 年 4 月 25 日付「[中核的連携機関として参画する研究開発課題の「宇宙戦略基金」採択のお知らせ](#)」(以下、2025 年 4 月 25 日付適時開示)にて開示しました通り、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(以下、JAXA)によって宇宙戦略基金(第 1 期)として公募された「月面の水資源探査技術(センシング技術)の開発・実証」に、当社が連携機関として参画する研究開発課題「テラヘルツ波リモートセンシング衛星による月地下浅部の資源探索」(以下、本プロジェクト)が採択されておりました(支援規模 64 億円程度)。この度、当該研究開発課題の代表機関である国立大学法人東京科学大学(以下、東京科学大学)との間で、当社が衛星開発およびその打上輸送と運用業務を担うことに関する業務委託契約(以下、「本契約」という。)を締結することを本日付で取締役会にて決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。本プロジェクトで東京科学大学から当社が受領する最大額は 4,714 百万円(※1)となることを見込んでおり、本契約を通じて当社が受領する額はその内の最大 1,985 百万円(※1)となります。

(※1) なお、最終的な契約金額は、JAXA 及び代表機関による実績報告及び成果報告書の内容についての検査、および契約金額の確定通知をもって確定されます。

記

1. 本契約締結予定先

(1) 名称	国立大学法人東京科学大学	
(2) 所在地	東京都目黒区大岡山 2-12-1	
(3) 代表者の役職・氏名	大竹 尚登、理事長	
(4) 事業内容	東京工業大学と東京医科歯科大学の統合により設立された、理工・医歯学分野を中心に教育・研究を行う国立大学法人	
(5) 設立年	2024 年	
(6) 上場会社と当該者との間の関係	資本関係	該当事項はありません
	人的関係	該当事項はありません
	取引関係	該当事項はありません

	関連当事者への該当状況	該当事項はありません
--	-------------	------------

※東京科学大学は国立大学法人であるため、資本金、大株主及び持株比率、最近 3 年間の財政状態及び経営成績については開示しておりません。

2. 本契約の概要

宇宙戦略基金第 1 期として公募された「月面の水資源探査技術（センシング技術）の開発・実証」に、東京科学大学が代表機関、当社が中核的連携機関である研究開発課題が 2025 年 4 月 25 日付で採択され、本日、東京科学大学との間で当社が当該研究開発課題において衛星開発およびその打上輸送と運用を担うことに関する業務委託契約を締結することを決議いたしました。当該研究開発課題で開発をする衛星はミッション 4 での打上げを前提として契約しております。

3. 宇宙戦略基金第 1 期への採択内容（一部再掲）

募集機関	JAXA
代表機関	国立大学法人東京科学大学
技術開発テーマ	月面の水資源探査技術（センシング技術）の開発・実証
技術開発テーマの目標（※2）	① 月面の水資源探査の実施を見据え、月面の輝度温度分布を複数周波数において観測し、月面の水・氷含有量の推定分布に資するデータの取得が可能なテラヘルツ波センサシステム（10kg 程度以下）を搭載した衛星システム（100kg 程度以下）の開発を実施すること。 ② ①で開発した衛星システムを月周回軌道に投入して観測を行い、LUPEX（※3）等のその他探査機の観測データ等と組み合わせて分析する手法を開発し、月面における水氷の有望箇所を推定するとともに、水氷以外の資源の有望箇所の将来的な推定に繋げること。
採択された研究開発課題の名称	テラヘルツ波リモートセンシング衛星による月地下浅部の資源探索
支援件数	1 件程度
支援期間（※4）	4 年間程度（予定）
公表日	2025 年 4 月 25 日
支援規模	64 億円程度

（※2）出典：令和 6 年度 宇宙戦略基金事業公募要領

https://fund.jaxa.jp/content/uploads/koboyoryo_4-2.pdf

（※3）LUPEX：月極域の水資源の存在量や質に関するデータを取得する月極域探査機（Lunar Polar Exploration）

（※4）支援期間：当初委託事業期間は、契約締結決定日から、最初のステージゲート評価が終了

する日の属する年度の末日まで

4. 本契約の概要

(1) 契約締結予定先	国立大学法人東京科学大学
(2) 当社の役割	上記 3.に記載の宇宙戦略基金第 1 期に採択された研究開発課題の内、衛星開発・打上輸送・運用を担う
(3) 契約金額	最大 1,985 百万円（※1） 上記金額は今後のステージゲート評価等により確定するため、本契約を通じて当社が東京科学大学から受領する金額の最大額として記載しております。 なお、本プロジェクト全体を通じて最終的に当社が東京科学大学から受け取る契約総額は最大 4,714 百万円（※1）を予定しておりますが、当該契約総額の最大額についても今後のステージゲート評価等により変動する場合があります。
(4) 取締役会決議日	2025 年 10 月 6 日
(5) 契約締結日	2025 年 8 月 29 日 上記 3. にて記載の JAXA と東京科学大学間の契約締結日である 8 月 29 日を起点として、東京科学大学と当社との研究活動も開始していることから、東京科学大学と当社間の本契約は同日付に遡って有効とされています。

5. 業績への影響について

本件は 2026 年 3 月期通期連結業績予想に織り込み済のため、今期業績予想に与える影響は軽微であると判断しております。なお、上記 4. (3) に記載の通り、本プロジェクト全体で受領する契約総額の最大額は 4,714 百万円（※1）となることを見込んでおり、本契約を通じて当社が受領する金額は最大 1,985 百万円（※1）となりますが、今後当該金額が著しく変動することが判明した場合をはじめ、今後の業績に重大な影響を与えることが明らかになった場合には、速やかに開示いたします。

以上